取扱説明書

体位変換用コンフォートループスリング

04.MT.00-JA_10 • 12/2022

arjo
EMPOWERING MOVEMENT

警告

けがを避けるため、製品を使用する前に必ず本取扱説明書及び付属文書をよくお読みください。

使用方法 - 取扱説明書を確認すること

デザインポリシーと著作権
® および ™ は Arjo グループ会社に属する商標です。
© Arjo 2022.

Arjo は製品の継続的な改善をポリシーとしているため、本書の内容を予告なく変更することがあります。本書の内容の全部または一部について、Arjo の許諾なしに、複製することは禁じられています。

目次

はじめに 4
使用目的 5
安全に関する注意事項 6
準備 7
パーツ名称 / 説明 8
体位変換用コンフォートループスリングのサイズ 9
使用可能な組合せ 10
体位変換用コンフォートループスリングの適用 / 交換 11
ループの取外し 12
ループアタッチメント 12
ストレッチャーフレーム 13
　水平移乗 13
　患者をベッド上方に水平移動させる方法 15
　患者の体重を計測するには 16
　患者を床から持ち上げるには 18
スプレッダーバーを使用する場合 20
　水平移乗 20
　患者をベッド上方に水平移動させる方法 22
　ベッド上で寝返りをする 24
　X 線イメージングプレートの取付け / 取外し 26
洗浄と消毒の手順 28
点検・保守及びメンテナンス 29
トラブルシューティング 30
技術仕様 31
体位変換用コンフォートループスリングラベル 32

はじめに

Arjo 製品をご購入いただき、ありがとうございます。

本取扱説明書を最後までお読みください。

承認を受けずに製品を改造した場合の事故、事件、製品不具合について、 Arjo は責任を負いません。

カスタマーサポート

更に詳しい情報が必要な場合は、Arjo までお問い合わせください。連絡先の情報は、*本取扱説明書*の巻末に記載されています。

重大な事故

ユーザーまたは患者に影響を与える重大事故が発生した場合、ユーザーまたは患者は、機器メーカーまたは販売店に報告してください。欧州連合においては、全てのユーザは、重大事故を居住する加盟国の所轄官庁にも報告してください。

本取扱説明書の定義

警告

注意：安全上の警告警告に従わない場合、自身または他者がけがをするおそれがあります。

注意

注意：指示に従わなかった場合、システム自体または製品の全体あるいは一部に不具合が発生するおそれがあります。

注記

注意：システムまたは製品の正しい使用方法に関する重要な情報です。

ヒント

注意：これは、業務フローの特定の作業を容易にする情報です。

注意：メーカー名及び住所。

使用目的

Arjo *体位変換用コンフォートループスリング*は、病院や介護施設（在宅ケアを含む）において、自分で体を動かすことが困難な患者の移乗や体位変換に使用します。移乗を行わない際はベッドシーツとして、移乗の際にはスリングとして移乗機器と組み合わせて使用します。

*体位変換用コンフォートループスリング*の目的：

- ベッドシーツの代わりに患者の体の下に敷いて使用
- 水平移乗
- ベッドでの体位変換
- 体重測定
- X 線イメージングプレート（カセット）の使用
- 床からの持ち上げ

*体位変換用コンフォートループスリング*は、医療・介護現場の知識を有し、介護手法の指導を受け十分な知識をもつ介助者が、本*取扱説明書*に従って使用してください。

目的に応じた組み合わせ

*体位変換用ループコンフォートスリング*は、本*取扱説明書*の指示に従い、*10 ページの「使用可能な組合せ」*必ず Arjo 製のリフト（ループアタッチメント）とともに使用してください。

リフトとの互換性

- 水平移乗：ストレッチャーフレームを使用。
- 水平移乗：ストレッチャーフレーム、4 点式スプレッダーバー、または 2 点式スプレッダーバーを使用。
- ベッド上で患者を上方に移動：ストレッチャーフレーム、4 点式スプレッダーバー、または 2 点式スプレッダーバーを使用。
- ベッド上で体位変換：4 点式スプレッダーバーまたは2点式スプレッダーバーを使用。
- 体重測定：ストレッチャーフレームを使用。
- X 線プレートの適用 / 除去：4 点式スプレッダーバーまたは 2 点式スプレッダーバーを使用。
- 床からの持ち上げ：ストレッチャーフレームを使用。

患者の体重は使用されている全ての製品および付属品の最低安全耐荷重 (SWL) を超えてはなりません。セクション *10 ページの「使用可能な組合せ」*を参照してください。

*体位変換用コンフォートループスリング*は、本*取扱説明書*で指定された目的のためにのみ使用してください。それ以外の使用は禁止します。

患者のアセスメント

定期的にアセスメントを行うことをお勧めします。

以下の基準に従ってアセスメントを実施してください。

- *体位変換用コンフォートループスリング*は日常生活に介助を必要とし、自身で移乗や体位変換ができない患者が対象です。
- 患者の体重は 272 kg/600 lb を超えてはいけません。
- 患者の体重、胴回り、体型を評価する時には、移乗 / 体位変換 / 持ち上げを行う介護者にどれほどのリスクを与えているか、という観点が必要です。*体位変換用ループコンフォートスリング*内に無理なく収まる体形の患者に使用してください。
- 移乗を行う際に必要な介助者の人数は次の要因に左右されます。
  - 患者のアセスメント結果
  - 移乗を行う環境
  - 各施設で定める患者の持ち上げ、移乗、および体位変換の手順

これらの基準が満たされない場合、別の機器/システムを使用してください。

患者に禁忌事項がある場合は、医療機関に相談してください。

使用期間

*体位変換用ループコンフォートスリング*の使用期間は、特に記載のない限り 2 年間です。これは 6 日に一度洗濯し、本 *取扱説明書*の指示に従ってメンテナンスを実施した場合の使用期間です。
セクション *7 ページの「準備」*と *29 ページの「点検・保守及びメンテナンス」*を参照してください。

患者が興奮した場合、移乗を中止し、安定した場所に安全に降下させてください。

警告

けがを防ぐために、まず患者の状態を確認します。
安全であることを確認した後に、患者のポジショニング、持ち上げ、移乗を行ってください。

警告

けがを防ぐため、操作中は必ず患者の頭部と背骨部分を支えてください。

警告

患者にチューブ / ライン / ドレーンを使用している場合は、持ち上げ、体位変換、移乗操作時にこれらを確認してください。

警告

体位変換用コンフォートループスリングがリフトに取付けられているときは、けがを防ぐため常に患者のそばから離れないでください。

警告

患者の落下を防ぐため、持ち上げる前および持ち上げ中は、ループが確実に取り付けされていることを確認してください。

警告

けがを防ぐため、体位変換用コンフォートループスリングがストレッチャーフレーム / スプレッダーバー以外のものに取り付けられていないこと、および操作のために十分なスペースがあるか確認してください。

準備

初めて使用するにあたって （8 つのステップ）

1 スリングのすべてのパーツをチェックします。セクション *8 ページの「パーツ名称 / 説明」*を参照してください。不足あるいは損傷しているパーツがある場合、スリングを使用しないでください。

2 梱包材は自治体のルールに従ってリサイクルしてください。

3 本*取扱説明書*を最後までお読みください。

4 初めて使用した年月日と病院・施設名/部署名をスリングの製品ラベルに油性ペンで記入してください。セクション *8 ページの「パーツ名称 / 説明」32 ページの「体位変換用コンフォートループスリングラベル」*を参照してください。

5 セクション*28 ページの「洗浄と消毒の手順」*に従って、スリングを洗濯および乾燥してください。

6 スリングは、湿度が低く直射日光の当たらない室内で保管してください。スリングを鋭利なものや腐食性のもの、製品を傷つけるおそれのあるものに近づけないでください。

7 *取扱説明書*は、いつでも確認できるよう一定の場所に保管してください。

8 救急事態に備えて、あらかじめ救助プランを準備してください。

注記

サポートとサービスに関するお問い合わせは、お買い求めの代理店もしくは Arjo にご連絡ください。Arjo の連絡先は、本*取扱説明書*の巻末に記載されています。

使用にあたって （4 つのステップ）

1 適切なサイズのスリングを選択します。セクション *9 ページの「体位変換用コンフォートループスリングのサイズ」*を参照してください。

2 **警告**

二次感染を防ぐために、常に本取扱説明書の消毒の手順に従ってください。

他の患者に使用する前に、スリングがセクション *28 ページの「洗浄と消毒の手順」*の項目に従って洗濯されていることを確認してください。

3 **警告**

けがを防ぐため、使用前に製品のチェックを行ってください。

使用前後に毎回、セクション*29 ページの「点検・保守及びメンテナンス」*に従いスリング全体をしっかり点検して、損傷や異常がないことを確認してください。

スリングに損傷や異常がある場合や、安全が確認できない場合には、使用をおやめください。

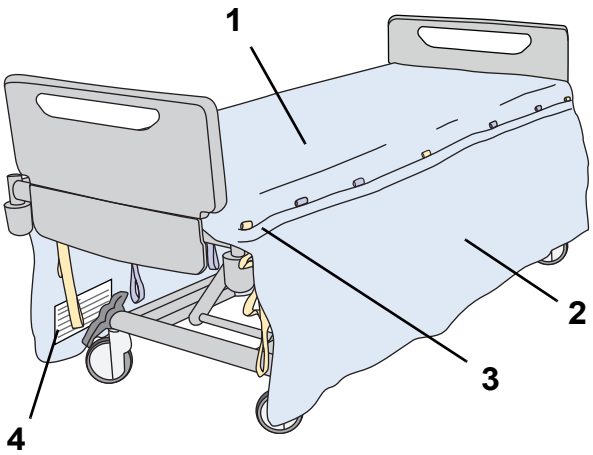
4 **警告**

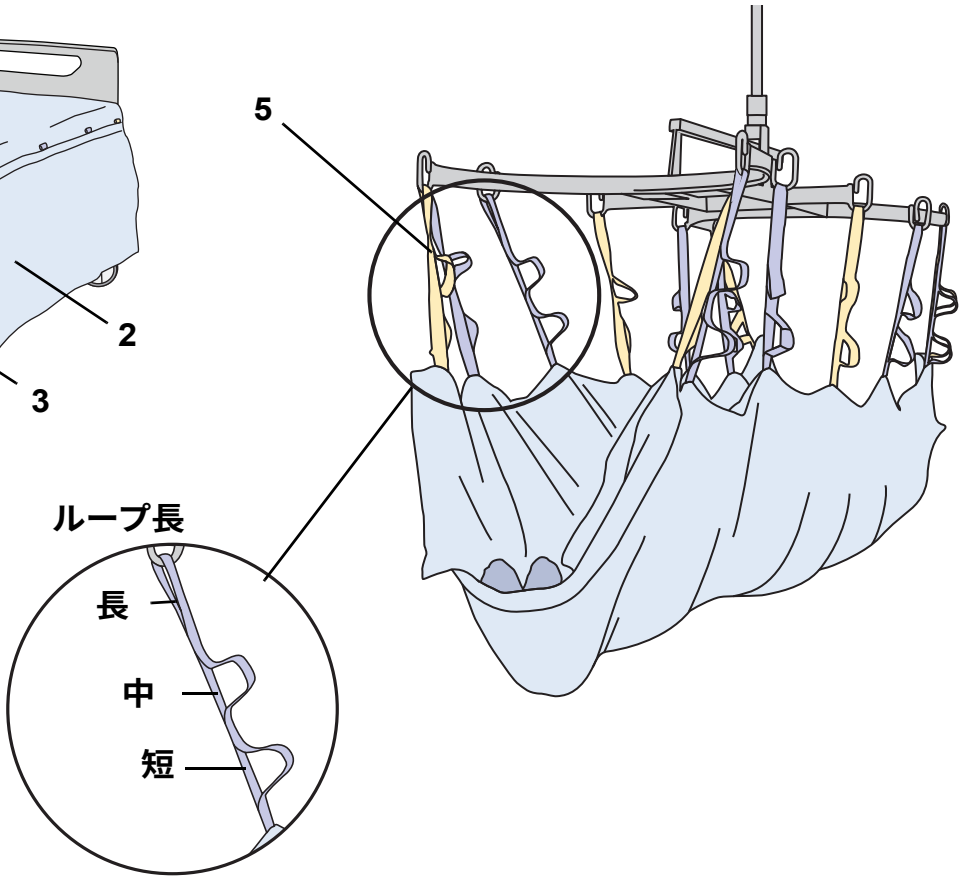
けがを防ぐため、使用されているすべての製品および付属品の安全耐荷重 (SWL) が、患者の体重より大きくなければなりません。

スリングとストレッチャーフレーム / スプレッダーバーおよびリフトの使用可能な組合せを確認してください。 *10 ページの「使用可能な組合せ」*を参照してください。

全システムの最低安全耐荷重 (SWL) を守ってください。

パーツ名称 / 説明





1 サポート面

2 サイドバランス

3 補強部

4 製品ラベル

5 ループ付きストラップ

1. サポート面

スリングには患者側（サポート面）とベッド側がありますが、頭側と足側の区別はありません。

スリングをサポート面を上（患者に向けて）、もう一方を下（マットレスに向けて）にし、ストラップがサイドバランスでおおわれるようにベッドに置きます。

サポート面は、仰向け位での持ち上げ、体位変換、移乗を行う際に患者を支えます。

2. サイドバランス

サイドバランスは、移乗中の保温や快適性の向上のため、または尊厳を守るために患者を覆うことができます。

3. 補強部

補強部はサポート面とサイドバランスとの間にあります。患者の体に触れて圧迫しないよう、補強部はマットレスより外側に出します。

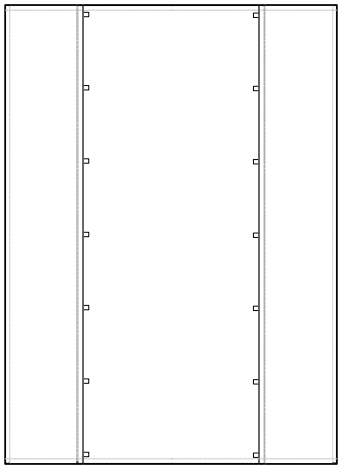
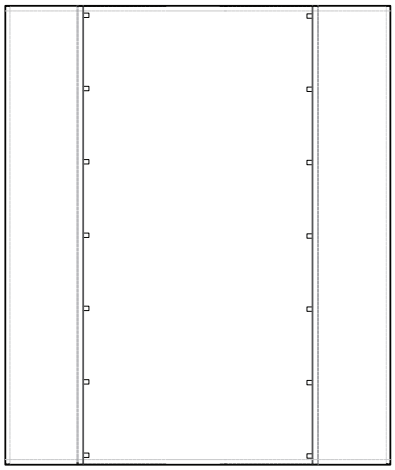
4. 製品ラベル

製品ラベルは、片方のサイドバランスに付けられています。

5. ループ付きストラップ

ストラップは補強部に沿って取付けられています。各ストラップには 3 つのループ長があり、持ち上げる高さを変えられます。患者が快適かつ適切に包み込まれるループ長を使用してください。

体位変換用コンフォートループスリングのサイズ

シートの図	製品番号	安全耐荷重	製品の説明	寸法
レギュラー 	MAA7000R	272 kg (600 lb)	黄色と紫色のストラップ	サポート面： 全幅：96 cm (38”) 長さ：244 cm (96”) サイドバランス： 全幅：40 cm (16”) 長さ：244 cm (96”)
ワイド 	MAA7000W	272 kg (600 lb)	緑色と紫色のストラップ	サポート面： 全幅：125 cm (49”) 長さ：244 cm (96”) サイドバランス： 全幅 40 cm (16”) 長さ：244 cm (96”)

スリングは、体型に応じたスリングサイズを選択し、サポート面内に無理なく収まる患者のみに使用してください。

また、スリングのサイズが、*10 ページの「使用可能な組合せ」*に従い、使用されるベッドに適したサイズであることを確認してください。

使用可能な組合せ

警告

けがを防ぐため、使用されているすべての製品および付属品の安全耐荷重 (SWL) が、患者の体重より大きくなければなりません。

リフトとストレッチャーフレーム / スプレッダーバーを*体位変換用ループコンフォートスリング*と併せて使用する時の安全性を判断する際には、システム全体の SWL を必ず守ってください。

たとえば、 *Maxi Move* リフトの SWL は 227 kg (500 lb)、ストレッチャーフレームの SWL は 160kg (352 lb)、 MAA7000R *Maxi Transfer* シートの SWL は 272 kg (600 lb) です。ストレッチャーフレームの SWL が最大 160 kg (352 lb) と、このシステム内で最も低いため、システム全体の SWL は 160Kg が適用されます。

*体位変換用コンフォートループスリング*とともに使用できる製品は以下のものに限定されます。

天井走行リフト

Maxi Sky 600	**272 kg (600 lb)**
ストレッチャーフレーム	272 kg (600 lb)
2 点式スプレッダーバー	272 kg (600 lb)

Maxi Sky 2	**272 kg (600 lb)**
ストレッチャーフレーム	272 kg (600 lb)
2 点式スプレッダーバー	272 kg (600 lb)
4 点式スプレッダーバー	272 kg (600 lb)

床走行リフト

Maxi Move	**227 kg (500 lb)**
ストレッチャーフレーム	160 kg (352 lb)
2 点式スプレッダーバー	227 kg (500 lb)

ベッド

*体位変換用コンフォートループスリング*を選択する際は、サポート面がベッドマットレスの幅と長さの全体を覆い、サイドバランスが床に接触しないようにしてください。

体位変換用コンフォートループスリング	**ベッド**
体位変換用コンフォートループスリング レギュラー、MAA7000R 272 kg (600 lbs)	最大幅：93 cm (36 5/8”) 最大長 220 cm (86 5/8”)
体位変換用コンフォートループスリング ワイド、MAA7000W 272 kg (600 lbs)	最大幅：122 cm (48”) 最大長 220 cm (86 5/8”)

体位変換用コンフォートループスリングの適用 / 交換

図 1

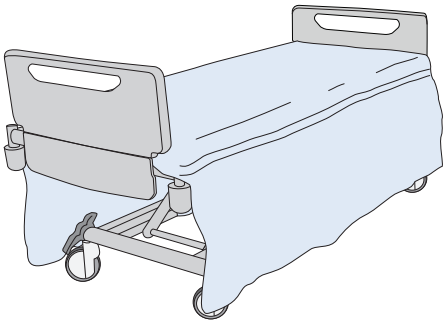


図 2

図 3

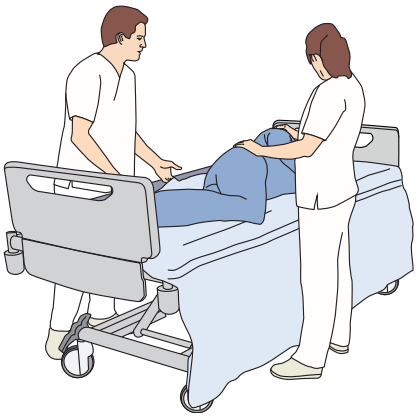
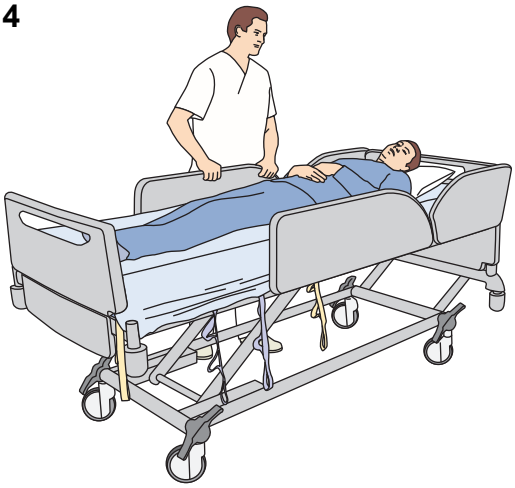


図 4



以下の 4 つのステップに沿って移乗してください

ベッドを準備する際は、施設で取り決めたマニュアルや褥瘡予防ガイドラインを参照してください。

> 注記
> 本取扱説明書では、ベッドにはストレッチャー、トロリーなどを含みます

1 ベッドを介助者が作業しやすい高さに合わせ、背上げ、脚上げを平らに戻します。

2 既存のベッドシーツを取り除き、スリングを置きます。スリングが床に触れていないことを確認してください。**（図 1 を参照）**

患者がすでにベッドに寝ている場合は、既存のベッドシーツを取り除きスリングを敷き込みます。以下の例を参考に、施設で推奨している手法があればそれに従ってください。

患者を側臥位にして敷きこむ方法: 患者の向きを変える方向にベッドにサイドレールが取り付けられている、または 別の介助者がいることを確認してください。**（図 2、図 3 参照）**

スライディングシートを使用して敷きこむ方法：Arjo スライディングシートを使用します。スライディングシートの*取扱説明書*を参照してください。

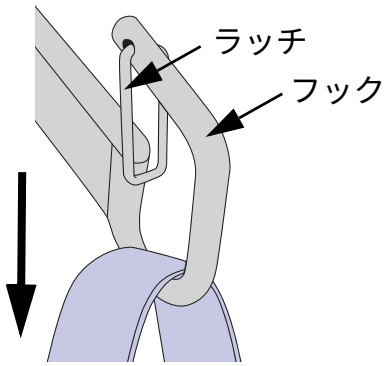
3 敷きこんだ後、以下を確認します。

- スリングの頭側端はベッド上端にそろえ、余分な布はベッド足側に垂らします。こうすることで患者の寝位置調整が行いやすくなります。
- 中央（黄色または緑）のストラップが大転子 / 骨盤のあたりにそろっていること。
- スリングの縦中心が患者の下、マットレスの上にあること。
- 補強部がマットレス端の外側に合っていること。
- サイドバランスが、床に接触することなく両側のストラップを覆っていること。
- サポート面にストラップが出ておらず、しわがないこと。
- ストラップとサイドバランスが他の機器（ライン、チューブ、ドレーン、ワイヤー、およびベッドのコンポーネントなど）の邪魔になっていないこと。
- 枕がスリングの上に置かれていること
- スリング上にベッドパッドが置かれていること。

4 患者が安全かつ快適な位置にいることを確認します。**（図 4 参照）**

ループアタッチメント

図 1



以下の 3 つのステップに沿って移乗してください

イラストは、ラッチ付きフックの一例です。スプレッダーバーあるいはストレッチャーフレームは異なる形状の場合があります。

1 ループをラッチにかけます。

2 ループを下に引き、ラッチを開きます。

3 ループが完全にフックにかかり、ラッチが閉じていることを確認してください。**（図 1 参照）**

注記
- 患者の体重を均等に分散するために、両側の色のついたストラップがお互いに一致するようにしてください。たとえば黄色のストラップ同士を合わせます。
- ストラップのループ長を変え、患者の位置を調整することで、快適性を高めることができます。たとえば、頭部ではループを短く、腰部ではループを長く調整します。
- 患者がスリングの左右どちらかに偏っている場合は、偏っている側のループ長を長くし、反対側のループ長を短くします。

ループの取外し

方法 1 （2 ステップ）

1 ラッチを押して開きます。

2 ループを外します。

方法 2 （2 ステップ）

図はラッチ付きフックの一例です。スプレッダーバーあるいはストレッチャーフレームは異なる形状の場合があります。

1 ループの片方をフックとラッチ越しに引っ張ります。**（図 1 を参照）**

2 ループを下に引っ張ります。**（図 2 参照）**

図 1

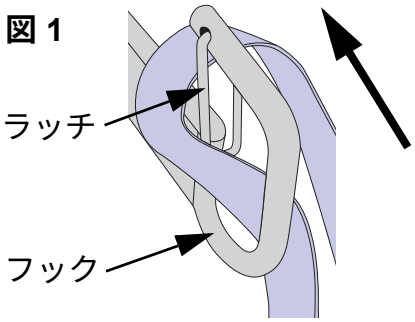
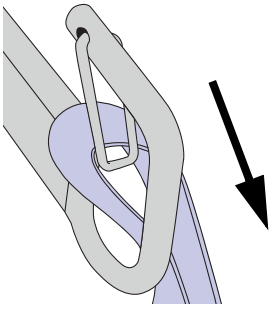
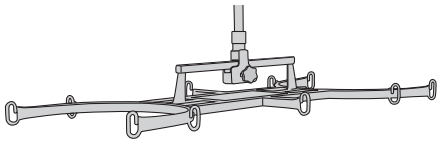


図 2



ストレッチャーフレーム

図 1



水平移乗

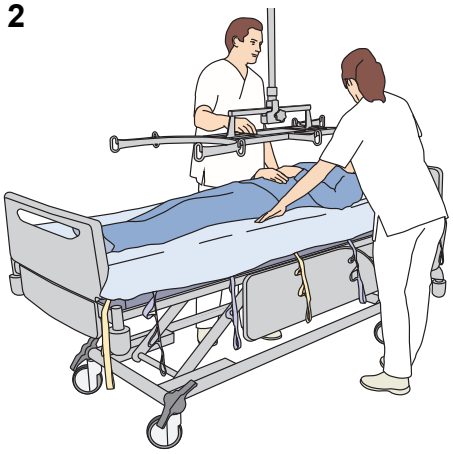
以下の 15 ステップに従って移乗してください。

患者を移乗するには、ストレッチャーフレームを使用します。**（図 1 参照）**

リフトの使用方法については、各リフトの*取扱説明書*を参照してください。

> 注記
> 本取扱説明書におけるベッドとは、ストレッチャー、トロリー等を含みます。

図 2



1 介助者が介助しやすいようベッドの高さを調整します。背上げや脚上げは平らに戻します。リフトを近くに置きます。

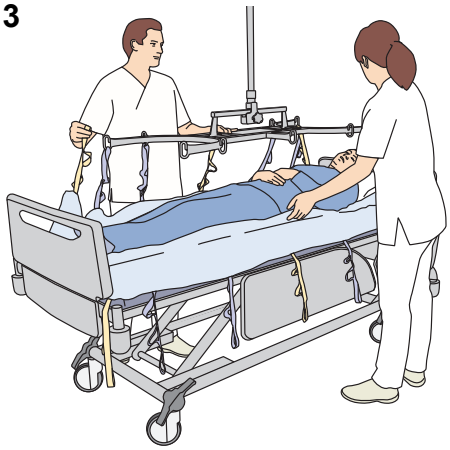
2 移乗先のベッドを同じ高さ・平らな状態にし、ベッドのキャスターブレーキをかけ、患者を移動させる方向のサイドレールを外します。

3 患者の腕を患者の体の上に置きます。

4 ストレッチャーフレームを患者の身長に合わせ、中央が患者のへその上になる位置に配置します。**（図 2 参照）**

5 スリングのサイドバランスを患者の体の上のまたは患者の両側に被せ、ストラップをかけられるようにします。**（図 2 参照）**

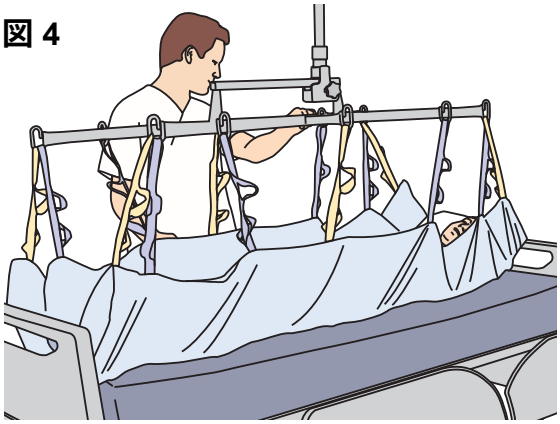
図 3



6 ストラップを取付けられるように、ストレッチャーフレームをゆっくり降下させます。揺れないように、介助者は常にストレッチャーフレームを保持してください。**（図 3 参照）**

7 **すべてのストラップを取付けます。患者の腹部に近い場所から取り付けます。**
7 組すべてのストラップを、5 組のフックに取付けてください。頭側 2 組と足側 2 組の ストラップは、1 つのフックに重ねて取り付けます。**（図 4 参照）**
患者が快適かつ安定して保持されるループ長を使用してください。

図 4



8 > **警告**
> **けがを防止するために、操作者と別の介助者がベッドのそばにいるか、または移乗先のベッドにサイドレールが取り付けられているか確認してください。**

移乗先のベッドの遠い方にサイドレールが取り付けられているか、別の介助者がいるかを確認します。

次のページのステップを続けます

図 5

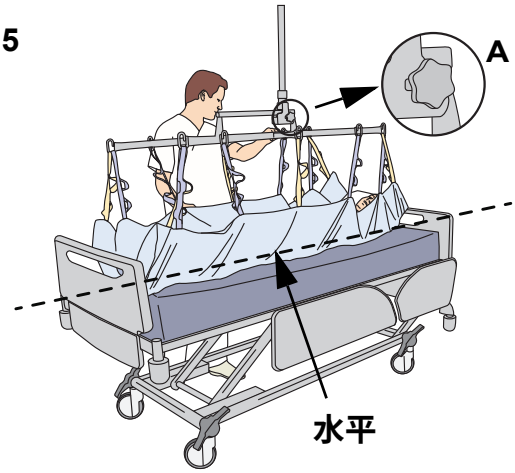


図 6

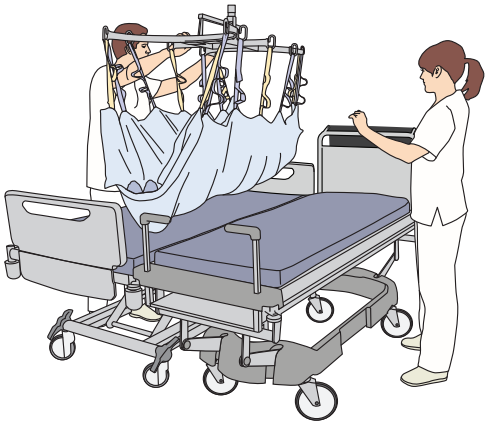


図 7

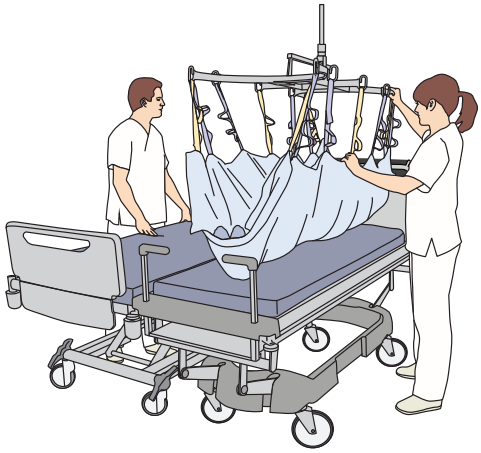
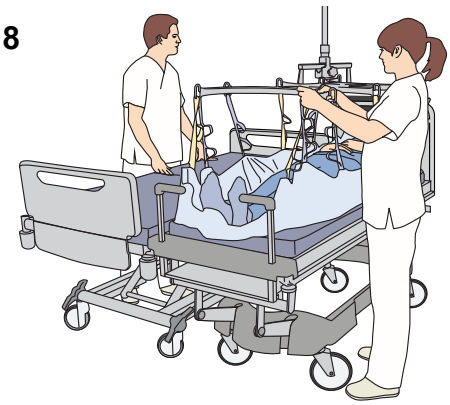


図 8



9 患者をわずかに持ち上げて、ストラップに張力をかけます。

- チューブ、ドレーン、ラインなどがある場合は注意してください。
- すべてのループが確実に取り付けられ、患者がスリングで快適かつ完全に包み込まれていることを確認します。
- スリングがストレッチャーフレーム以外のものに引っかかっていない事、および操作を実施するためのスペースがあることを確認します。

10 調整が必要な場合は、患者を一旦ベッドに降ろします。

- ストレッチャーフレームのバランスダイヤル（**図 5 参照**）**(A)** で重心位置を調整するか、
- ストラップをかけなおしてバランスをとるか、別のループ長を選択します。

11

ヒント
天井走行リフトを使用する場合、リフトではなくベッドを移動させ、なるべく患者を動かさないようにします。

引き続き患者を持ち上げて移乗先のベッドに移乗させます。（**図 6 と図 7 参照**）

12 患者を移乗先のベッドに降ろします。

13 ループを取外す前に次の点を確認します。（**図 8 参照**）

- 患者の体が完全にベッドで支えられていること
- ストラップに張力がかかっていないこと

14

警告

けがを防ぐため、すべてのループがフックから取り外されていることを確認してからリフト本体を患者から遠ざけます。

すべてのループを取外し、リフトを患者から遠ざけます。

15 以下の手順を確実に行ってください。

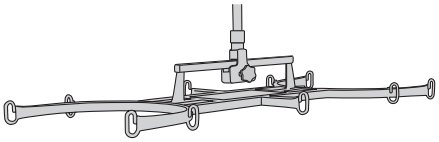
- 患者が安全で適切な位置にいること
- 患者の下にしわやストラップがないこと
- スリングの補強部がマットレス左右の外側にあること

患者をベッド上方に水平移動させる方法

以下の 11 のステップに従って移乗してください。

患者の体重を計測するため、ストレッチャーフレームを使用します。**（図 1 参照）**
リフトの使用方法については、各リフトの*取扱説明書*を参照してください。

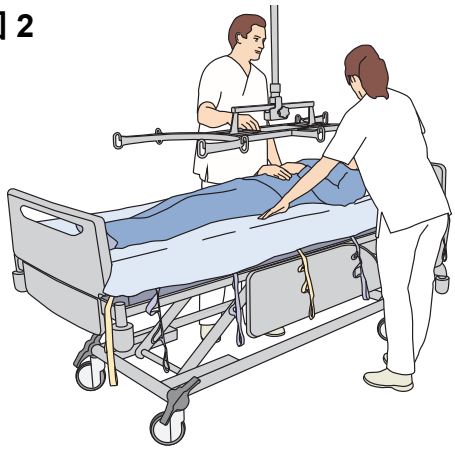
図 1



1 ベッドを介助者が作業しやすい高さに合わせ、背上げ、脚上げを平らに戻します。リフトを近くに置きます。

2 患者の腕を患者の体の上に置きます。

図 2



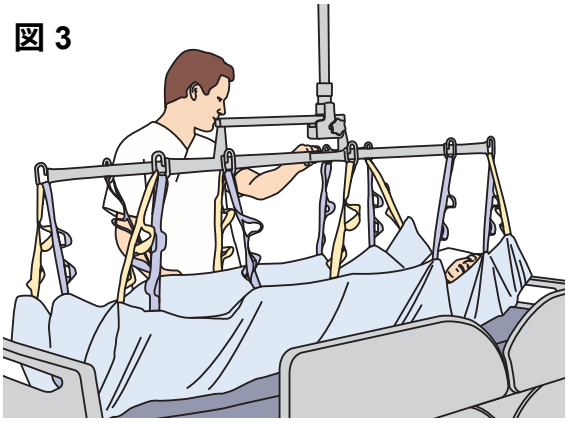
3 ストラップを取付けられるように、ストレッチャーフレームをゆっくり降下させます。揺れないように、介助者は常にストレッチャーフレームを保持してください。

4 **ストレッチャーフレーム**を患者の身長に合わせ、中央が患者のへその上になる位置に配置します。**（図 2 参照）**

5 患者が最も快適にサポートされるループ長を使用してください。**すべてのストラップを取付けます。**
7 組すべてのストラップを、5 組のフックに取付けてください。**（図 3 を参照）**

ループをフックに掛けやすくするため、必要に応じてベッドを背上げしてください。

図 3



6 患者をわずかに持ち上げて、ストラップに張力をかけます。

- チューブ、ドレーン、ラインなどがある場合は注意してください。
- すべてのループが確実に取り付けられ、患者がスリングで快適かつ完全に包み込まれていることを確認します。
- スリングがストレッチャーフレーム以外のものに引っかかっていない事、および操作を実施するためのスペースがあることを確認します。

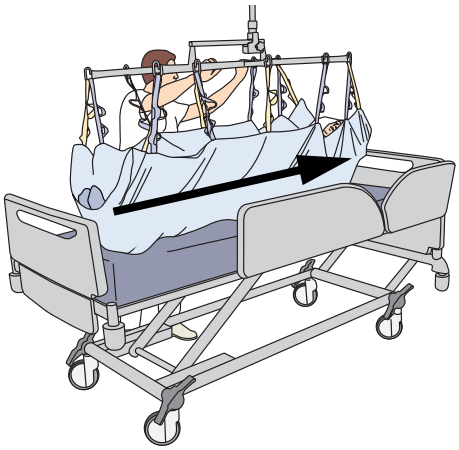
7 ベッド上方に患者を水平移動させます。**（図 4 参照）**

8 患者をベッドに降ろします。

9 ループを取外す前に次の点を確認します。

- 患者の体重が完全にベッドで支えられていること
- ストラップに張力がかかっていないこと

図 4

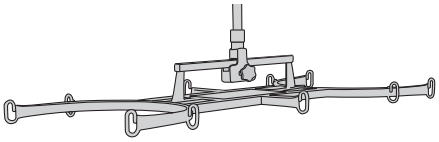


10 **警告**

けがを防ぐため、すべてのループがフックから取り外されていることを確認してからリフト本体を患者から遠ざけます。

すべてのループを取外し、リフトを患者から遠ざけます。

図 1



11 以下の手順を確実に行ってください。

- 患者が安全で適切な位置にいること
- 患者の下にしわやストラップがないこと
- スリングの補強部がマットレスの外側にあること

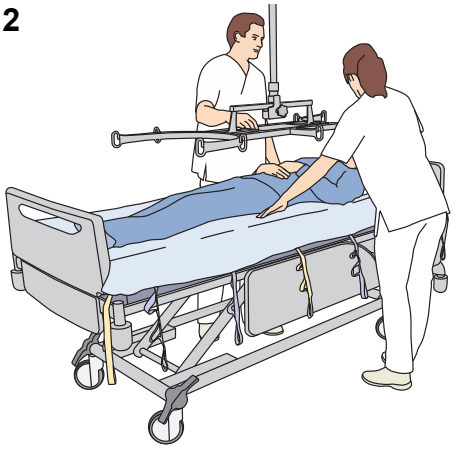
患者の体重を計測するには

以下の 12 のステップに従って計測してください。

ストレッチャーフレームを使用します。**（図 1 参照）**
リフトの使用方法については、各リフトの*取扱説明書*を参照してください。

1 ベッドを介助者が作業しやすい高さに合わせ、背上げ、脚上げを平らに戻します。リフトを近くに置きます。

図 2



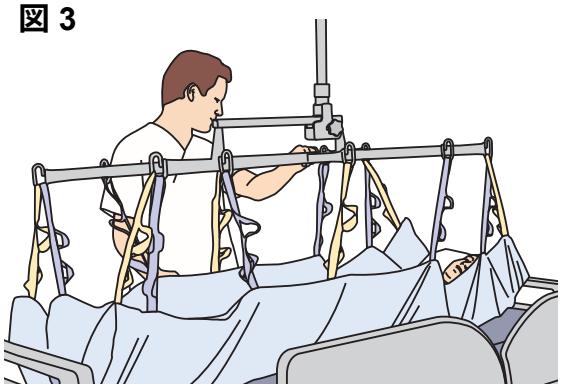
2 患者の腕を患者の体の上に置きます。

3 ストレッチャーフレームを患者の体幹に合わせ、中央が患者のへその上になる位置に配置します。**（図 2 参照）**

4 ストラップを取付けられるように、ストレッチャーフレームをゆっくり降下させます。揺れないように、介助者は常にストレッチャーフレームを保持してください。

5 **すべてのストラップを取付けます。**
7 組すべてのストラップを、5 組のフックに取付けてください。頭側 2 組と足側 2 組の ストラップは、1 つのフックに重ねて取り付けます。**（図 3 を参照）**
患者が最も快適な状態で適切に支持されるループ長を使用してください。

図 3

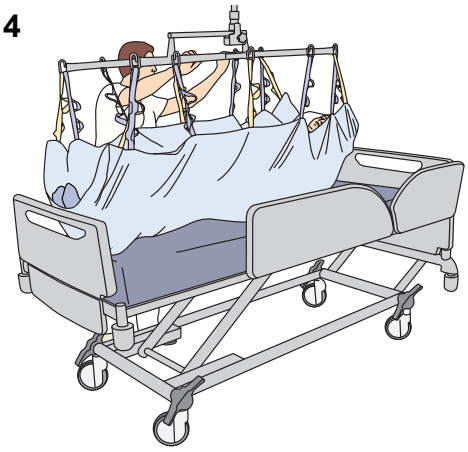


6 患者をわずかに持ち上げて、ストラップに張力をかけます。

- チューブ、ドレーン、ラインなどがある場合は注意してください。
- すべてのループが確実に取り付けられ、患者がスリングで快適かつ完全に包み込まれていることを確認します。
- スリングがストレッチャーフレーム以外のものに引っかかっていない事、および体重測定を実施するためのスペースがあることを確認します。

7 スリングに患者の全体重がかかるまで、患者を持ち上げます。**（図 4 参照）**

図 4



8 患者の体重が体重計のディスプレイに表示されます。*取扱説明書*を参照してください。表示重量には、スリングの重量が含まれることにご注意ください。スリングの重量は、セクション *31 ページの「技術仕様」*を参照してください。

図 5

9 患者をベッドに降ろします。

10 ループを取外す前に次の点を確認します。

- 患者の体重が完全にベッドで支えられていること
- ストラップに張力がかかっていないこと

11 **警告**

けがを防ぐため、すべてのループがフックから取り外されていることを確認してからリフト本体を患者から遠ざけます。

すべてのループを取外し、リフトを患者から遠ざけます。

12 次の点を確認します。**（図 5 参照）**

- 患者が安全で適切な位置にいること
- 患者の下にしわやストラップがないこと
- スリングの補強部がマットレスの外側にあること

患者を床から持ち上げるには

以下の 20 のステップに従って移乗してください。

ストレッチャーフレームを使用します **（図 1 参照）**
リフトの使用方法については、各リフトの*取扱説明書を参照してください。*

注記
本取扱説明書におけるベッドとは、ストレッチャー、トロリー等を含みます。

図 1

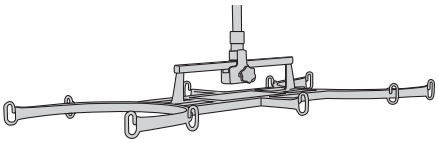


図 2

図 3

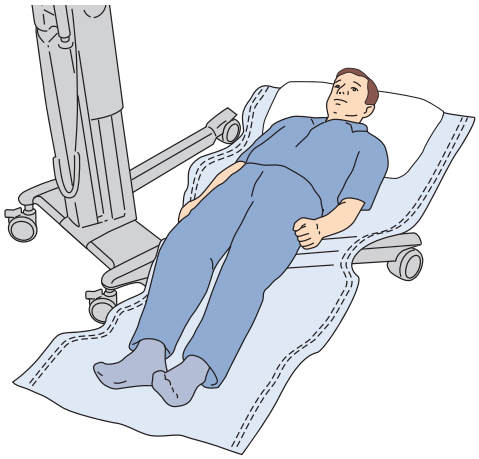
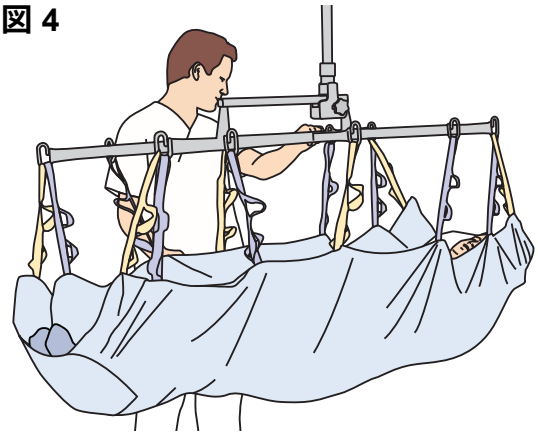


図 4



1 患者のアセスメントを行います（施設で定める基準に従ってください）。

2 患者の頭の下に枕を置きます。**（図 2 参照）**

3 リフトを患者に近づけられることを確認します。必要に応じて、スライディングシートを使用して患者を適切な場所に移動します。スライディングシートの*取扱説明書*を参照してください。

4 ベッドを近くにおいてブレーキをかけます。

5 スリングを患者の下に敷き込みます。

6 枕をスリングの上に置きます。

7 患者の腕を患者の体の上に置きます。

8 リフトのレッグを大きく開き、リフトを横向きに配置します。常に患者の頭部に注意してください。
片方のリフトレッグを患者の頭部付近に、もう片方のリフトレッグを患者の膝の下に配置します。
（図 3 参照）

9 ストレッチャーフレームが患者の体幹に沿って配置されていることを確認します。

10 リフトのブレーキをかけます。

11 ストラップを取付けられるように、ストレッチャーフレームをゆっくり降下させます。

12 **すべてのストラップを取付けます。**
7 組すべてのストラップを、5 組のフックに取付けてください。スリング両端の 2 組のストラップは、最初と最後のフックに取付けます **（図 4 参照）**。
患者が最も快適な状態で包まれるループ長に調整してください。

図 5

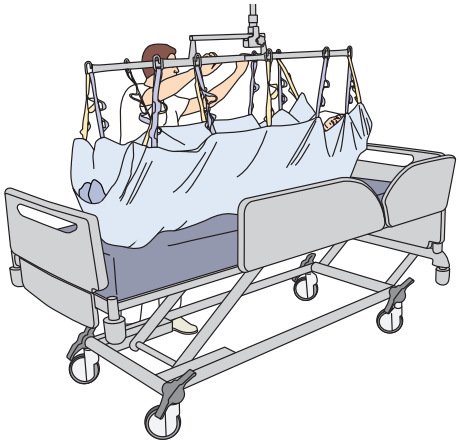


図 6

13 患者をわずかに持ち上げて、ストラップに張力をかけます。

- すべてのループが確実に取り付けられ、患者がスリングで快適かつ完全に包み込まれていることを確認します。
- スリングがストレッチャーフレーム以外のものに引っかかっていない事、および操作を実施するためのスペースがあることを確認します。

14 引き続き持ち上げます。

15 リフトのブレーキを解放し、患者をベッドに移乗させます。

16 患者をベッドに降ろします。**（図 5 参照）**

17 ループを取外す前に次の点を確認します。

- 患者の体重が完全にベッドで支えられていること
- ストラップに張力がかかっていないこと

18 **警告**

けがを防ぐため、すべてのループがフックから取り外されていることを確認してからリフト本体を患者から遠ざけます。

すべてのループを取外し、リフトを患者から遠ざけます。

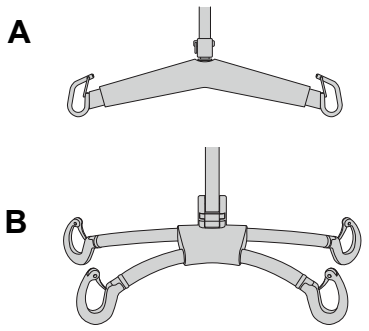
19 床に触れたスリングは汚れている可能性があるため交換します。 *11 ページの 「体位変換用コンフォートループスリングの適用 / 交換」*のセクションを参照してください。

20 次の点を確認します **（図 6 参照）**

- 患者が安全で適切な位置にいること
- 患者の下にしわやストラップがないこと
- スリングの補強部がマットレスの外側にあること

スプレッダーバーを使用する場合

図 1



水平移乗

以下の 15 ステップに従って移乗してください。

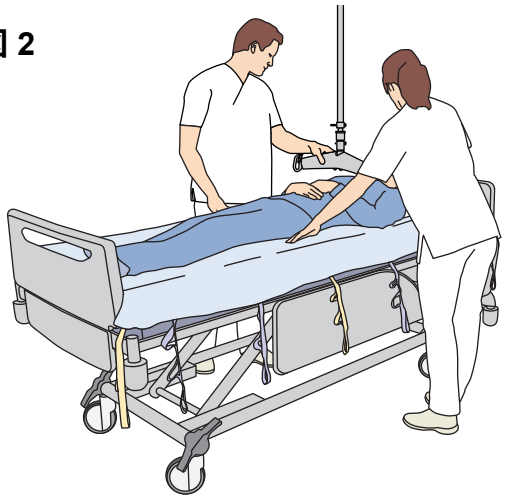
患者を移乗させるには、次のスプレッダーバーのいずれかを使用します（**図 1 を参照**）：

- 2 点式スプレッダーバー **(A)**
- 4 点式スプレッダーバー **(B)**

リフトの使用方法については、各リフトの*取扱説明書*を参照してください。

> 注記
> 本取扱説明書におけるベッドとは、ストレッチャー、トロリー等を含みます。

図 2



1 介助者が介助しやすいようベッドの高さを調整します。背上げや脚上げは平らに戻します。リフトを近くに置きます。

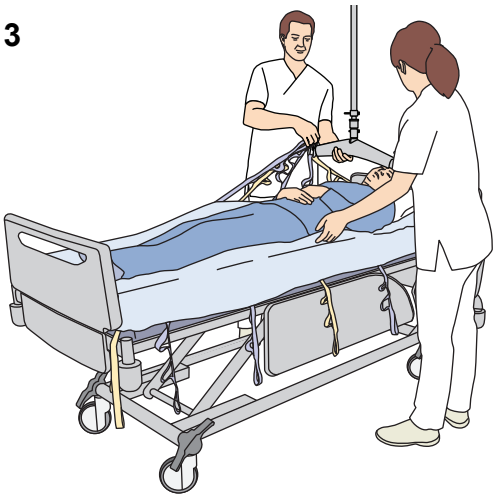
2 移乗先のベッドを同じ高さ・平らな状態にし、ベッドのキャスターブレーキをかけ、患者を移動させる方向のサイドレールを外します。

3 患者の腕を患者の体の上に置きます。

4 次のように配置します。
   - **4 点式スプレッダーバー**を患者に近づけます。中心が患者のへその上になるように配置します。スプレッターバーの幅が広い方を患者の頭側、幅が狭い方を患者の足側に向けます。
   - **2 点式スプレッダーバー**を患者に近づけます。中心が患者のへその上になるように配置します。（**図 2 参照**）

5 スリングのサイドバランスを患者の体の上のまたは患者の両側に被せ、ストラップをかけられるようにします。（**図 2 参照**）

図 3



6 ストラップを取付けられるように、スプレッダーバーを下げます。揺れないように、介助者は常にスプレッダーバーを保持してください。（**図 3 参照**）

7 患者が最も快適に包み込まれるよう適切なループ長を使用してください。**すべてのフックを使用します**。ループをフックに掛けやすくするため、必要に応じてベッドを背上げしてください。頭の上から膝までのストラップを取付けます。**最低でも両側の 5 本のストラップを使用します**。

> 注記
> 患者のかかとがスリングから出ている場合は、かかとに強い圧がかからないよう、スライディングシートを患者のかかとの下に敷きます。

図 4

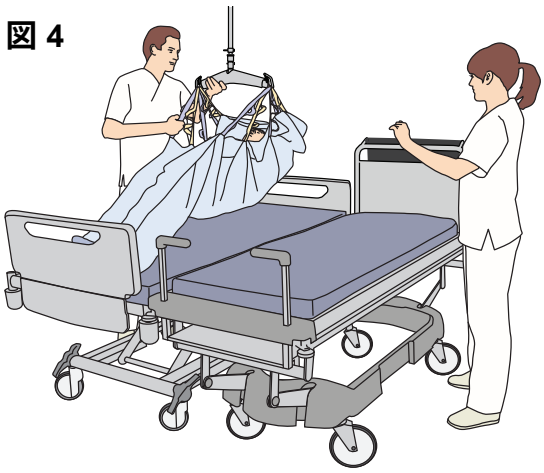


図 5

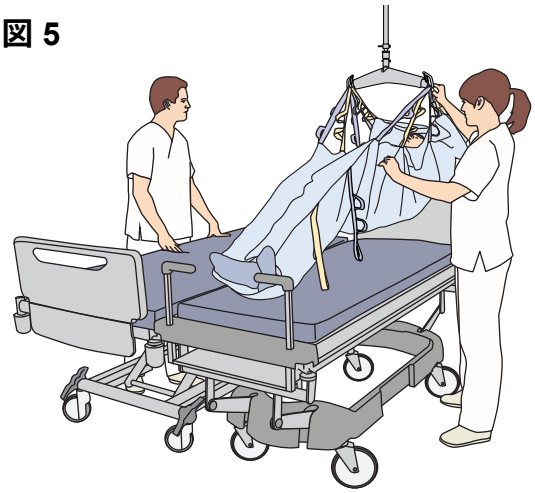


図 6

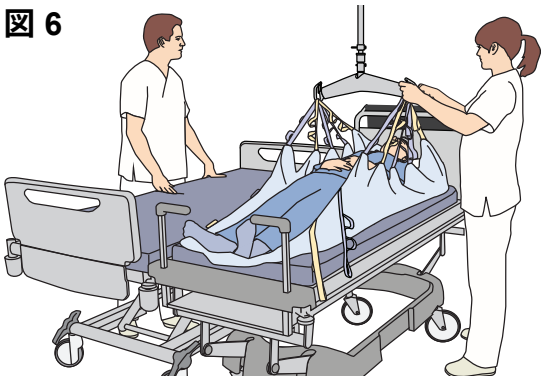


図 7

8 **警告**

けがを防止するために、操作者と別の介助者がベッドのそばにいるか、または移乗先のベッドにサイドレールが取り付けられているか確認してください。

以下の手順を確実に行ってください。

- 移乗先のベッドの遠い方の側のサイドレールが上がっているか、別の介助者がいること。**（図 4 参照）**
- 移乗面の間に隙間がないこと。

9 患者をわずかに持ち上げて、ストラップに張力をかけます。

- チューブ、ドレーン、ラインなどがある場合は注意してください。
- すべてのループが確実に取り付けられ、患者がスリングで快適かつ完全に包み込まれていることを確認します。
- スリングがスプレッダーバー以外のものに引っかかっていないこと、操作に必要なスペースがあることを確認してください。

10 調整が必要な場合は、患者を一旦ベッドに降ろします。

- ストラップを外して別のフックに配置するか、別のループ長を選択します。あるいは、
- ストレッチャーフレームを体重がかかっている側にずらしてバランスを調節します。

11 引き続き患者を持ち上げて移乗先のベッドに移乗させます。**（図 4 と図 5 参照）**

12 患者を移乗先のベッドに降ろします。

13 ループを取外す前に次の点を確認します。**（図 6 参照）**

- 患者の体が完全にベッドで支えられていること
- ストラップに張力がかかっていないこと

14 **警告**

けがを防ぐため、すべてのループがフックから取り外されていることを確認してからリフト本体を患者から遠ざけます。

すべてのループを取外し、リフトを患者から遠ざけます。

15 次の点を確認します **（図 7 参照）**

- 患者が安全で適切な位置にいること
- 患者の下にしわやストラップがないこと
- スリングの補強部がマットレスの外側にあること

患者をベッド上方に水平移動させる方法

以下の 11 のステップに従って移乗してください。

患者をベッドで上に移動させるには、次のスプレッダーバーのいずれかを使用します（**図 1 参照**）。

- 2 点式スプレッダーバー **(A)**
- 4 点式スプレッダーバー **(B)**

リフトの使用方法については、各リフトの*取扱説明書*を参照してください。

1 ベッドを介助者が作業しやすい高さに合わせ、背上げ、脚上げを平らに戻します。リフトを近くに置きます。

2 患者の腕を患者の体の上に置きます。

3 ストラップを取付けられるように、スプレッダーバーを下げます。揺れないように、介助者は常にスプレッダーバーを保持してください。

4 スプレッダーバーを患者の体幹に合わせ、中央が患者のへその上になる位置に配置します。4 点式スプレッダーバーを使用する場合は、太い方を患者の方に向け、細い方を患者の腰に向けます。（**図 2 参照**）

5 患者が最も快適な状態で適切に支持されるループ長を使用してください。

ループをフックに掛けやすくするため、必要に応じてベッドを背上げしてください。

頭の上から膝までのストラップを取付けます。**最低でも両側の 5 本のストラップを使用します**。すべてのフックを使用します。

> 注記
> 患者のかかとがスリングから出ている場合は、かかとに強い圧がかからないよう、スライディングシートを患者のかかとの下に敷きます。

図 1

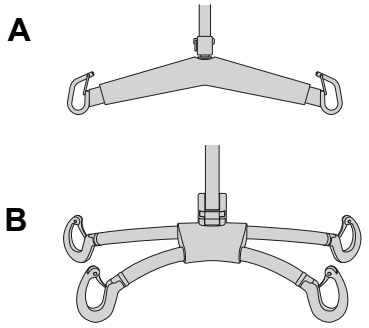
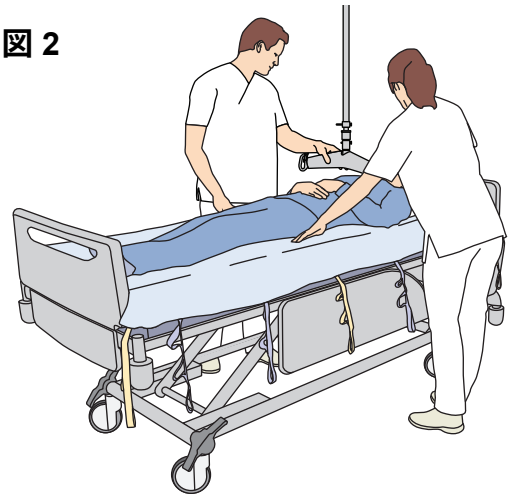


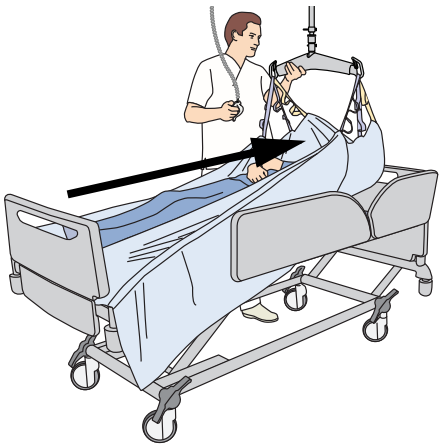
図 2



6 患者をわずかに持ち上げて、ストラップに張力をかけます。

- チューブ、ドレーン、ラインなどがある場合は注意してください。
- すべてのループが確実に取り付けられ、患者がスリングで完全にサポートされ、快適に横たわっていることを確認します。
- スリングがスプレッダーバー以外のものに取付けられていないこと、操作に必要なスペースがあることを確認します。

図 3



7 ベッド上方に患者を水平移動させます。**（図 3 参照）**

8 患者をベッドに降ろします。

9 ループを取外す前に次の点を確認します。

- 患者の体重が完全にベッドで支えられていること
- ストラップに張力がかかっていないこと

10 **警告**

けがを防ぐため、すべてのループがフックから取り外されていることを確認してからリフト本体を患者から遠ざけます。

すべてのループを取外し、リフトを患者から遠ざけます。

図 4

11 次の点を確認します **（図 4 参照）**

- 患者が安全で適切な位置にいること
- 患者の下にしわやストラップがないこと
- スリングの補強部がマットレスの外側にあること

ベッド上で寝返りをする

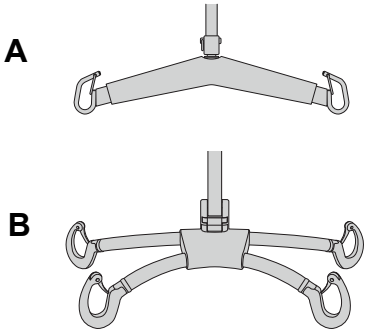
以下の 12 のステップに従って移乗してください。

ベッド上で患者を寝返りさせるには、次のスプレッダーバーのいずれかを使用します（**図 1 参照**）。

- 2 点式スプレッダーバー **(A)**
- 4 点式スプレッダーバー **(B)**

リフトの使用方法については、各リフトの*取扱説明書*を参照してください。

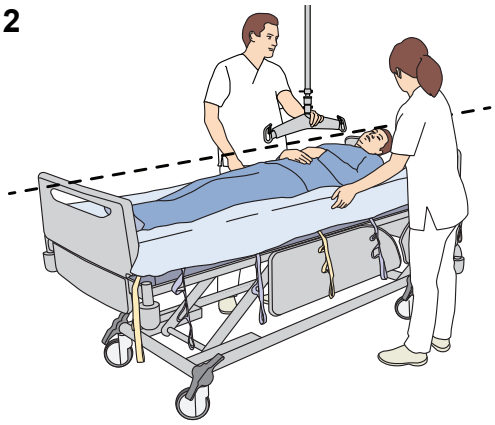
図 1



1 ベッドを介助者が作業しやすい高さに合わせ、背上げ、脚上げを平らに戻します。リフトを近くに置きます。

> ヒント
> 向きを変える前に、リフトで患者をベッドの片側に移してスペースを作ります *20 ページの「水平移乗」*。あるいは、スライディングシートをスリングの下に使用して、向きを変える患者を横に移します。

図 2



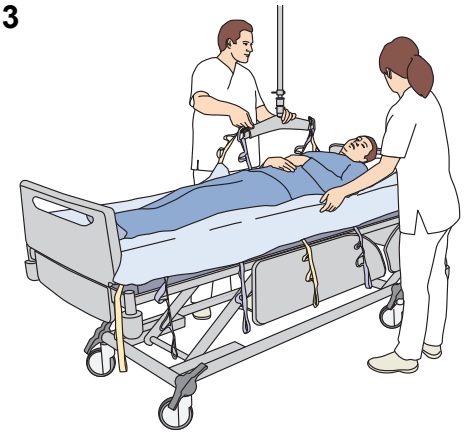
2 スプレッダーバーを患者の体幹と平行にし、バーの中心がが患者のへその上になる位置に配置します。（**図 2 参照**）

3 スプレッダーバーを降ろします。揺れないように、介助者は常にスプレッダーバーを保持してください。

4 片側のストラップを取付け、患者の片側の肩から骨盤までを支えます。**すべてのフックを使用します。**（**図 3 参照**）

5 患者の向きを変える準備をします（施設で決めた方法があれば、それに従います）。

図 3



6 **警告**

けがを防止するために、操作者と別の介助者がベッドのそばにいるか、または移乗先のベッドにサイドレールが取り付けられているか確認してください。

サイドレールが取り付けられているか、別の介助者がいることを確認します。

図 4

7 ループがしっかり取付けられていることを確認します。

8 患者が適切な体位になるまでスプレッダーバーを上昇させます。体位変換中は患者の状態をしっかりと確認してください。**（図 4 参照）**

9 ウェッジ（枕）を患者の背中側に置き、患者が元の体位に戻るのを防ぎます。

10 スプレッダーバーを降ろします。

11 **警告**

けがを防ぐため、すべてのループがフックから取り外されていることを確認してからリフト本体を患者から遠ざけます。

すべてのループを取外し、リフトを患者から遠ざけます。

12 以下の手順を確実に行ってください。

- 患者が安全で適切な位置にいること
- 患者の下にしわやストラップがないこと
- スリングの補強部がマットレスの外側にあること

X 線イメージングプレートの取付け / 取外し

以下の 15 ステップに従って操作してください。

X 線イメージングプレートを患者の下に取付け / 取外しするには、次のスプレッダーバーのいずれかを使用します **（図 1 参照）**

- 2 点式スプレッダーバー **(A)**
- 4 点式スプレッダーバー **(B)**

このセクションでは、上半身の X 線撮影のために X 線プレートを配置する方法を説明します。体のほかの部分の X 線については、*13 ページの「水平移乗」*の指示を参照してください。

リフトの使用方法については、各リフトの*取扱説明書*を参照してください。

図 1

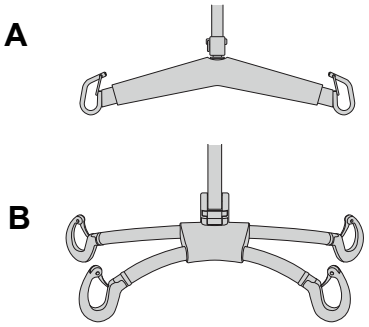


図 2

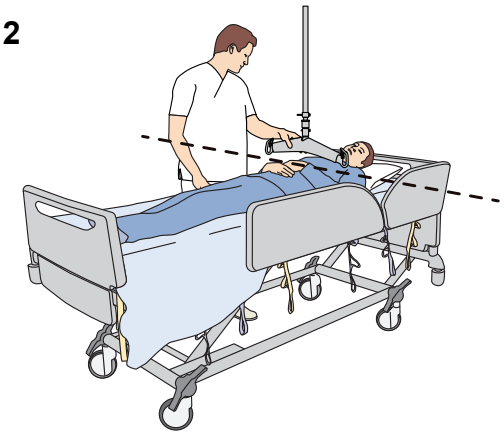


図 3

1 ベッドを作業しやすい高さに調節し、ブレーキをかけます。リフトを近くに置きます。

2 スプレッダーバーは患者の胸の上に来るように準備します。 **（図 2 参照）**
4 点式スプレッダーバーを使用する場合は、太い方を患者の頭側に向け、細い方を患者の足側に向けます。

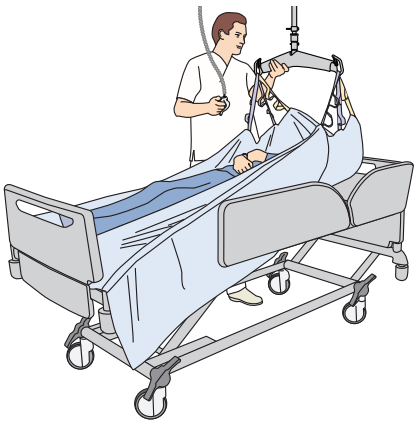
3 スプレッダーバーを降ろします。揺れないように、介助者は常にスプレッダーバーを保持してください。

4 患者が滑らないように、ベッドの足側を調整して患者の足が曲がった状態にします。
（図 3 参照）

ループをスプレッダーバーに取り付けやすくするため、必要に応じてベッドを背上げします。
ストラップを頭頂部から骨盤まで取付けます。
両側 3 対 （計 6 本）のストラップは必ず使用してください。
すべてのフックを使用します。

5 ループがしっかり取付けられていることを確認します。

図 4



6 患者の下に X 線イメージングプレートを置くことができる高さまで、患者の上半身を起こします。**（図 4 参照）**

7 患者を降ろします。

8 ヒント
スプレッダーバーを X 線撮影を行うエリアから遠ざけられるように、スプレッダーバーの片側のみのループを取外します。

必要に応じて、ループを外してスプレッダーバーを患者付近から遠ざけてください。

9 X 線撮影を行います。

10 スプレッダーバーを下降させてループを再度取付けます。

11 すべてのループがしっかり取付けられていることを確認します。

12 X 線イメージングプレートを取り出すのに十分な程度、患者の上半身を起こします。

13 患者を降ろします。

14 **警告**

けがを防ぐため、すべてのループがフックから取り外されていることを確認してからリフト本体を患者から遠ざけます。

すべてのループを取外し、リフトを患者から遠ざけます。

図 5

15 次の点を確認します **（図 5 参照）**

- 患者が安全で適切な位置にいること
- 患者の下にしわやストラップがないこと
- スリングの補強部がマットレスの外側にあること

洗浄と消毒の手順

警告

二次感染を防ぐために、常に本取扱説明書の消毒の手順に従ってください。

警告

けがにつながる破損を防ぐため、洗浄と消毒の手順を必ず確認して洗濯を行ってください。体位変換用コンフォートループスリングの安全性に直接影響します。

スリングは、汚れやしみがついたとき、使用する患者が変わるたび、次の指示を必ず守って洗濯してください。

洗浄 / 消毒 （2 ステップ）

1 ヒント
汚れがひどい場合は、しみを防ぐため冷水で予洗いしてください。

スリングは洗濯機で、最低 70 °C (160 °F) で 10 分以上、通常の洗濯サイクルで洗濯します。洗浄温度は 80°C (176°F) を超えてはなりません。

注意

以下に記載することはおやめください。

- **面ファスナーがついたもの、ジッパー、鋭利な物や凹凸の多いものと洗濯すること**
- **蒸気をあてること**
- **圧迫や回転など、機械的な圧力をかけること**
- **漂白剤の使用**
- **ガス滅菌**
- **オートクレーブの使用**
- **ドライクリーニング**

2 通常の温度で乾燥機で乾燥します。乾燥工程は 80°C (176°F) を超えてはなりません。

洗剤

すべてのスリングは、蛍光剤や漂白剤を含まない、一般的な市販の洗剤を使用してください。他の化学物質 （塩素、柔軟剤、アルコール、ヨード系消毒剤、臭素、オゾンなど）は使用できません。

消毒

消毒方法は、洗濯による消毒のみです。（*28 ページの 「洗浄 / 消毒 （2 ステップ）」を参照*）

点検・保守及びメンテナンス

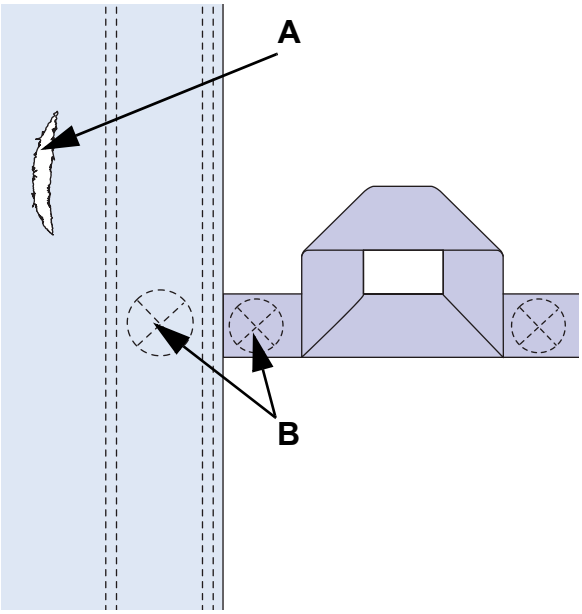
スリングは消耗品です。以下のようなメンテナンスを実施する必要があります。

メンテナンスのためのスケジュール：体位変換用コンフォートループスリング

介助者の義務 / チェック項目	毎回使用する前	患者が変わるとき、または汚れ / しみがついたとき
すべてのパーツの目視点検	X	
洗浄 / 消毒		X

注記
RFID （無線自動識別）を*体位変換用コンフォートループスリング*に取付ける場合、または刺繍などでマーキングする場合は、縫製部分を避け、必ずサイドバランス部分に行ってください。

図 1



介助者に実施していただきたいこと

すべてのパーツの目視点検

介助者は使用前後に毎回、スリング全体を検査して、損傷や異常がないことを確認してください。

以下を確認します。

- 有効期限、
- ほころび、裂け目、穴 **(A)** **（図 1 参照）**、
- ストラップ取付け部の縫製不良や摩耗 **(B)** **（図 1 参照）**、
- 熱による損傷 （縮みや生地の劣化）、
- 漂白剤その他の化学薬品による部分的な損傷、
- ラベルが読めない、または劣化している

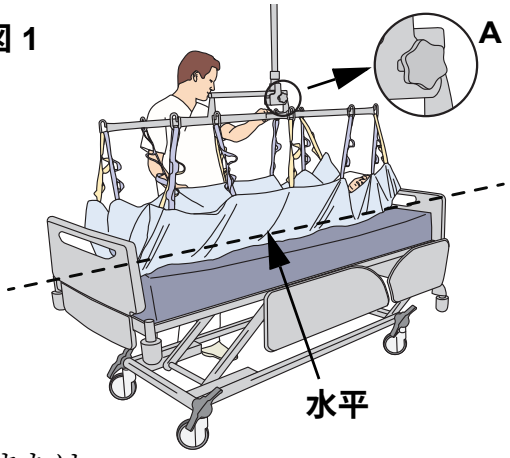
スリングに上記のような損傷や異常がある場合や、使用することに不安を感じる場合には、
- 本製品を使用しないでください。

「初回使用日」および 「病院・施設名 / 部署名」の手書き文字が薄くなっている場合は、元の文字を記入してください。

洗浄 / 消毒

二次感染を防ぐため、介助者はスリングに汚れやしみがある場合、また患者が変わるたびに、*28 ページの「洗浄と消毒の手順」*のセクションの指示に従って洗濯されていることを確認する必要があります。

トラブルシューティング

想定される問題	対処法
患者の移乗中に、首の支えが十分でない。	• スリングが、脊柱と首を最もよく支えられるように、最適なストラップと最適なループ長で取り付けられていることを確認します。 • 必要に応じて、患者の首とスリングとの間に枕を置いたり、取り除いたりして調整します。
スリング内での患者の体位を、より上向きか半座位にします。	患者がベッドに支えられるまで降ろしてから次のことを実行します。 • ストレッチャーフレームのバランスを調節する **(A)**、**（図 1 参照）** **図 1**  および / または • ストラップを外して別の位置に配置するか、別のループ長を選択する。
スリングをリフトと組み合わせて使用することが困難な場合。	スリングは、必ず本取扱説明書の *10 ページの「使用可能な組合せ」に記載された組合せで使用してください。*
移動の際に、患者がスリングの正しい位置に配置されていない。	以下をご確認ください。 • ストラップが*取扱説明書*の推奨どおりに取付けられている。 • スリングで支えた際に、患者が水平な位置にある。 • 患者の体重が、操作に応じて均等に分散されている。
スリングをベッドシーツとして使用する際に、患者が不快感を感じていないか。	• 補強部がマットレス端に沿っているか、外側にあることを確認する。 • スリングのサポート面にストラップがなく、しわがないことを確認する。 • 患者の首とスリングの間に枕を置いたり、取り除いたりして調整する。
仰臥位での持ち上げ、体位変換、移乗の際に、患者が不快感を感じていないか。	• ストラップが快適で安全な位置に、適切なループ長で取付けられていることを確認します。 • 患者の首とスリングの間に枕を置いたり、取り除いたりして調整する。

技術仕様

一般	
安全耐荷重 (SWL) = *体位変換用コンフォートループスリング*上での患者の最大体重	レギュラーサイズ、ワイドサイズともに 272 kg (600 lb)
重量	MAA7000R: 1.1 kg (2.4 lb) MAA7000W: 1.2 kg (2.7 lb)
材質	100% ポリエステル （帯電防止糸使用）
使用期間	2 年間
通気性	<3.5 m² Pa/W. ISO 11092
生体適合性	ISO 10993-5, ISO 10993-10
耐火等級	ISO 12952-1 および 12952-2

動作、輸送、および保管環境	
温度	動作時および保管時： 0 °C ～ +40 °C (+32 °F ～ +104 °F) 輸送時：-25 °C ～ +60 °C (-13 °F ～ +140 °F)
湿度	動作時および保管時：+20°C (+68°F) で 15 ～ 70% 輸送時：+20°C (+68 °F) で 10 ～ 95%

廃棄方法	
梱包 （段ボールとビニール袋）	梱包材は国内規制に従ってリサイクルする必要があります。
体位変換用コンフォートループスリング	布製品やその他の繊維、ポリマー、プラスチック材料等は、可燃性廃棄物として分類してください。 廃棄前に、病院または国内の規制に従って洗濯した場合はリサイクル可能。

体位変換用コンフォートループスリングラベル

一般

	操作方法 - 取扱説明書を確認すること
	安全耐荷重 (SWL) = 患者の最大体重
PES	PES （リサイクル可能） = ポリエステル
REF	商品番号中の X は次のいずれかになります。 – R （レギュラー）または – W （ワイド）
LOT	バッチ番号
	メーカー名と住所
	製造日
UDI	機器固有識別子 (UDI)

洗濯とお手入れの記号

70 160 °F	70 °C (160 F) で洗濯機で洗濯
	漂白しないでください
	乾燥器使用
	アイロンは使用しないでください
	ドライクリーニング不可
	病院または病棟の名前

20 _ _ / _ _ +24M =

日付を記入する部分のある記号。製品の使用期限を示します。

証明書 / マーキング

CE	欧州共同体統一法の適合を示す CE マーキング取得
MD	本製品が EU 医療機器規制 2017/745 に準拠した機器であることを表示しています

意図的に空白

意図的に空白

AUSTRALIA
Arjo Australia
Building B, Level 3
11 Talavera Road
Macquarie Park, NSW, 2113,
Australia
Phone: 1800 072 040

BELGIQUE / BELGIË
Arjo Belgium
Evenbroekveld 16
9420 Erpe-Mere
Phone: +32 (0) 53 60 73 80
Fax: +32 (0) 53 60 73 81
E-mail: info.belgium@arjo.com

BRASIL
Arjo Brasil Equipamentos Médicos Ltda
Rua Marina Ciufuli Zanfelice, 329 PB02
Galpão - Lapa
São Paulo – SP – Brasil
CEP: 05040-000
Phone: 55-11-3588-5088
E-mail: vendas.latam@arjo.com
E-mail: servicios.latam@arjo.com

CANADA
Arjo Canada Inc.
90 Matheson Boulevard West
Suite 350
CA-MISSISSAUGA, ON, L5R 3R3
Tel/Tél: +1 (905) 238-7880
Free: +1 (800) 665-4831
Fax: +1 (905) 238-7881
E-mail: info.canada@arjo.com

ČESKÁ REPUBLIKA
Arjo Czech Republic s.r.o.
Na Strzi 1702/65
140 00 Praha
Czech Republic
Phone No: +420225092307
E-mail: info.cz@arjo.com

DANMARK
Arjo A/S
Vassingerødvej 52
DK-3540 LYNGE
Tel: +45 49 13 84 86
Fax: +45 49 13 84 87
E-mail: dk_kundeservice@arjo.com

DEUTSCHLAND
Arjo GmbH
Peter-Sander-Strasse 10
DE-55252 MAINZ-KASTEL
Tel: +49 (0) 6134 186 0
Fax: +49 (0) 6134 186 160
E-mail: info-de@arjo.com

ESPAÑA
ARJO IBERIA S.L.
Poligono Can Salvatella
c/ Cabanyes 1-7
08210 Barberà del Valles
Barcelona - Spain
Telefono 1: +34 900 921 850
Telefono 2: +34 931 315 999

FRANCE
Arjo SAS
2 Avenue Alcide de Gasperi
CS 70133
FR-59436 RONCQ CEDEX
Tél: +33 (0) 3 20 28 13 13
Fax: +33 (0) 3 20 28 13 14
E-mail: info.france@arjo.com

HONG KONG
Arjo Hong Kong Limited
Room 411-414, 4/F, Manhattan Centre,
8 Kwai Cheong Road, Kwai Chung, N.T.,
HONG KONG
Tel: +852 2960 7600
Fax: +852 2960 1711

ITALIA
Arjo Italia S.p.A.
Via Giacomo Peroni 400-402
IT-00131 ROMA
Tel: +39 (0) 6 87426211
Fax: +39 (0) 6 87426222
E-mail: Italy.promo@arjo.com

MIDDLE EAST
Arjo Middle East FZ-LLC
Office 908, 9th Floor,
HQ Building,North Tower,
Dubai Science Park,
Al Barsha South
P.O. Box 11488, Dubai,
United Arab Emirates
Direct +971 487 48053
Fax +971 487 48072
Email: Info.ME@arjo.com

NEDERLAND
Arjo Nederland BV
Biezenwei 21
4004 MB TIEL
Postbus 6116
4000 HC TIEL
Tel: +31 (0) 344 64 08 00
Fax: +31 (0) 344 64 08 85
E-mail: info.nl@arjo.com

NEW ZEALAND
Arjo Ltd
34 Vestey Drive
Mount Wellington
NZ-AUCKLAND 1060
Tel: +64 (0) 9 573 5344
Free Call: 0800 000 151
Fax: +64 (0) 9 573 5384
E-mail: nz.info@Arjo.com

NORGE
Arjo Norway AS
Olaf Helsets vei 5
N-0694 OSLO
Tel: +47 22 08 00 50
Faks: +47 22 08 00 51
E-mail: no.kundeservice@arjo.com

ÖSTERREICH
Arjo Austria GmbH
Lemböckgasse 49 / Stiege A / 4.OG
A-1230 Wien
Tel: +43 1 8 66 56
Fax: +43 1 866 56 7000

POLSKA
Arjo Polska Sp. z o.o.
ul. Ks Piotra Wawrzyniaka 2
PL-62-052 KOMORNIKI (Poznań)
Tel: +48 61 662 15 50
Fax: +48 61 662 15 90
E-mail: arjo@arjo.com

PORTUGAL
Arjo em Portugal
MAQUET Portugal, Lda.
(Distribudor Exclusivo)
Rua Poeta Bocage n.º 2 - 2G
PT-1600-233 Lisboa
Tel: +351 214 189 815
Fax: +351 214 177 413
E-mail: Portugal@arjo.com

SUISSE / SCHWEIZ
Arjo Switzerland AG
Fabrikstrasse 8
Postfach
CH-4614 HÄGENDORF
Tél/Tel: +41 (0) 61 337 97 77
Fax: +41 (0) 61 311 97 42

SUOMI
Arjo Scandinavia AB
Riihitontuntie 7 C
02200 Espoo
Finland
Puh: +358 9 6824 1260
E-mail: Asiakaspalvelu.finland@arjo.com

SVERIGE
Arjo International HQ
Hans Michelsensgatan 10
SE-211 20 MALMÖ
Tel: +46 (0) 10 494 7760
Fax: +46 (0) 10 494 7761
E-mail: kundservice@arjo.com

UNITED KINGDOM
Arjo UK and Ireland
Houghton Hall Park
Houghton Regis
UK-DUNSTABLE LU5 5XF
Tel: +44 (0) 1582 745 700
Fax: +44 (0) 1582 745 745
E-mail: sales.admin@arjo.com

USA
Arjo Inc.
2349 W Lake Street Suite 250
US-Addison, IL 60101
Tel: +1 (630) 307-2756
Free: +1 (800) 323-1245
Fax: +1 (630) 307 6195
E-mail: us.info@arjo.com

JAPAN
Arjo Japan K.K.
東京都港区虎ノ門三丁目7 番8 号
ランディック第2 虎ノ門ビル9 階
Tel: +81 (0)3-6435-6401
Fax: +81 (0)3-6435-6402
E-mail: info.japan@arjo.com

At Arjo, we are committed to improving the everyday lives of people affected by reduced mobility and age-related health challenges. With products and solutions that ensure ergonomic patient handling, personal hygiene, disinfection, diagnostics, and the effective prevention of pressure ulcers and venous thromboembolism, we help professionals across care environments to continually raise the standard of safe and dignified care. Everything we do, we do with people in mind.

ArjoHuntleigh AB
Hans Michelsensgatan 10
211 20 Malmö, Sweden
www.arjo.com